

## ジュニア ナチュラリスト ステーションでの廃棄物再利用の取組

- 1 自治体名 沿海地方
- 2 発表者名（所属名） クリモーヴィチ エカテリーナ、  
アルセニエフ市立第4総合教育学校
- 3 活動名 生活廃棄物の再利用
- 4 活動期間 2000～2005年
- 5 活動場所 沿海地方、アルセニエフ市、ジュニア ナチュラリスト  
ステーション
- 6 活動参加人数 95人

7 活動をはじめた経緯 アルセニエフ市内に於ける生活廃棄物の増加。

### 8 発表要旨

物の製造や消費によって発生する廃棄物は人類にとって昔から当たり前のことである。しかし、15世紀の初めから廃棄物の発生は環境問題として扱われるようになり、19-20世紀にはかなり深刻な環境問題になってきた。

現在は、あらゆるところから発生するごみの処理問題がとても需要になっている。

特に、廃棄物の収集、処理、埋め立てなどを含む、廃棄物適切処理問題は全世界で注目を浴び、その解決をめぐる様々な取り組みが行われている。その中で最も効果的な取り組みは、廃棄物減量および再利用である。アルセニエフ市ジュニア ナチュラリスト ステーションの子供たちも一生懸命ごみの量を減らし、出来るだけ生活廃棄物を再利用するように取り組んでいる。

ステーションでは、既に25年間にわたって「ごみ」と言う事業が実施されている。その事業の内容は、生活廃棄物をデコラティブ・アート、造園、家具製造などに使用し、出来るだけ生活廃棄物量を減らすことである。更に、2004年から新たな3つの事業が実施された、「使い終わった茶葉」— 使用済みの茶葉を土作りに使用、「ペットボトル」— ペットボトルを家具製造、造園に使用、「BUM」— 古紙を集め、リサイクルのため専用の収集所へ出す。今年、全ての学校にこのような取り組みを実施するように呼びかけた。

事業の実施成果を分析して、生活廃棄物は以下の分野で再利用できることが明らかになった。

- 造園
- デコラティブ・アート
- 園芸

造園のために殆どの生活廃棄物を使用できる。例えば、ステーションでは、白鳥形の古いランプを使用し素敵な噴水が作られた。最近市立図書館で受け取った古い本棚は、つる性植物の花台になった。花のプランター台として逆さまにされた古いシーソーのフレームが使用されている。大きなごみ箱や古い樽を塗装し、花壇として使用されている。

植物の鉢としてはヨーグルトなどのプラスチックコップを使用して、飾りには果物の包装紙を使う。古いじょうろ、靴などは同時に縁飾りと植物の鉢として使われている。また、塀作りには古いタイヤもよく使われている。砂を入れたペットボトルを土に半分の高さまで埋めたら花壇などのスペースを区切る素敵な塀が出来あがった。

デコラティブ・アートには実にどんなものでも使用できる。何の役にもたないものを子供たちは自分の作品に活かしている。ダンボール箱などで様々な形やフレーム、絵の下敷きなどを作っている。古い壁紙、カレンダーなどで額の飾り、アプリケーション、液体壁紙は花瓶の飾りに使われている。繊維の使い道も幅広く、紐、糸、布の破片で様々なものが作られている。例えば、布の破片で足拭きマット、人形、糸や紐でキャッシュポットを作る。ペットボトルや瓶も幅広く使われている。瓶は飾りをした後、花瓶として使用されている。カラーガラスの破片は絵の飾りとして使用されている。おもちゃや家庭用の雑貨を作る時には、チェーンの破片、古いネックレス、足拭きマット、箒、カラー鉛筆の削りくずまで使用している。

デコラティブ・アートの分野で家具や日用品も作られている。ペットボトルで椅子、テーブルの足、灰皿、様々な台を作る。それ以外、不用になったものも幅広く使用されている。2004年には、ステーションで不用になったもので最も良いごみバスケットを選ぶコンクールが行われた。また、子供たちは綺麗な花瓶を作るのは大好き。そのために古い皿、じょうろ、ボトルなどをベースにし、その上に好きなものを張って（例えば、キャンバス、液体壁紙、ネットなど）、更にその上に自分の想像力を活かして飾りをつける。結果的には、不用なものを材料にして、子供たちの手でユニークなものが作られる。

園芸に使用されている生活廃棄物の種類はそれほど多くない。一つの例としては、使用済みの茶葉である。それを土に混ぜて、肥料としてプランター土の改良に使用されている。茶葉以外、プランターや植木鉢の排水材として細かくした発泡スチレンを使用している。また、植物畑の境界を作るためにダンボールが使用されている。それは乾燥防止にもなるし、畑を歩きやすくする。

私は、子供たちがステーションや学校で取り組んでいる事業は市の環境改善に非常に役立っていると思う。その事業の中で、子供たちが自分でものを作り、周りの風景や自分の家の環境を改善するだけではなく、周りの自然環境を浄化し、環境を汚さないように取り組んでいることは最も大切である。このような事業を通じて、環境保全の取り組みが、とても楽しくまた利益も得られることであると理解できる。実際、子供たちが自分の手でものを作り、そして種々の商品の購入費用を節約することができる。それ以外、自分の作品を売ることも出来る。将来、我々はこの経験を沿海地方の他の学校にも伝えたいと思う。

## 9 活動の成果

子供たちによる市内浄化事業実施、生活廃棄物再利用方法を学んだ。